

全ク連11発第116号
平成11年10月1日

茨城県クリーニング環境衛生同業組合
理事長 檜村 誠 殿

全国クリーニング環境衛生同業組合連合会

茨城県東海村・核燃工場事故に伴うクリーニング業者の対応について

前略

東海村・核燃工場の事故に伴うクリーニング業者の対応について、本会より厚生省指導課に問い合わせたところ、科学技術庁に注意点等を確認していただきましたのでご覧ください。

内容は下記の通りとなっております。

- ①科学技術庁の話では、本日正午現在、工場施設外の被爆者が10人確認されている。それらの人は既に病院施設等に保護されており着衣をクリーニング店に持ってくることは当然考えられないが、現状では被爆者の着衣は受け付けないこと。
- ②それ以外の住民の方のクリーニング品を受け付けることは問題ないものと思われる。

平成11年10月19日

厚生省生活衛生局指導課

渡辺課長補佐殿

茨城県東海村・核燃工場事故に伴うクリーニング業者の被害について

謹啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

先日は標記の件に伴い、科学技術庁等にお問い合わせいただき、本業界へのアドバイスを賜り誠にありがとうございました。

さて、遅くなりましたが茨城県クリーニング環境衛生同業組合よりの本件に関する被害状況報告をお伝えいたします。

被爆等の被害は一切ありませんが、以下、事故後に組合より組合員に対してアンケートを行った集計結果となっております。

組合加盟のクリーニング総施設数 382カ所
うち、核燃工場より10km圏内の地域にある施設 31カ所

上記31カ所に関する被害調査

⇒①事故当日の営業状況…	営業	66.7%
	休業	33.3%
②屋内待避が発表されてからの営業状況…	営業	11.1%
	休業	88.9%
③屋内待避が解除されるまでの売上減状況…	10～20%減	33.3%
	20～40%減	0.0%
	40～60%減	16.7%
	60～80%減	11.9%
	80～100%減	38.9%
④組合員の被爆検査の状況…	検査受け異常なし	28%
	検査は受けない	72%

全国クリーニング環境衛生同業組合連合会